

事務事業マネジメントシート(平成25年度実績と平成26年度計画)

平成26年 5月23日更新

事務事業名		合生文化会館維持管理事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連					
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	教育委員会事務局	課長名	大高和弘	
	施策	23	人権が尊重される社会づくり				所属課	人権啓発教育課	担当者名	西口雅利	
	基本事業	75	人権教育啓発活動実践の推進				所属班	合生文化会館	(内線)	096-242-3218	
予算科目		会計一般	款3	項1	目10	事業連番10891	法令根拠				成果優先度評価結果 : ⑪ コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度		☐ 25年度で終了 ☐ 25年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 23 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)				

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	日々の施設の清掃の他、機械警備・床のワックス処理・カーペット交換・消防用設備の保守点検等の委託。施設の修繕・光熱水・消耗品の管理。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	各種委託業者選定・契約及び購入・支払い事務等
【主な予算費目】	消耗品費、光熱水費、修繕費、役務費、委託料及び賃借料。
【意見や要望】	清掃・修理・保全など施設の維持管理等が行届いている
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 25年度実績(25年度に行った主な活動)(DO)		26年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
日々の施設の清掃の他、機械警備・床のワックス処理・カーペット交換・消防用設備の保守点検等の委託。施設の修繕・光熱水・消耗品の管理		施設の良好な維持管理に努める
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
⇒ア:利用者数	人	施設修繕費等の減 光熱水費の増
⇒イ:		
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
会館施設全般		⇒ア:市民 人
		⇒イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
良好な施設機能を維持する。		⇒ア:施設維持管理に起因する支障等がなく利用している人の割合 %
		⇒イ:
*③成果指標設定の理由と26年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	23年度 実績(決算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	25年度 実績(決算)	26年度 目標(当初予算)	27年度 予定	28年度 見込	29年度 見込
①活動指標	ア	人	9,887	9,810	10,000	9,399	10,000	10,000	10,000	10,000
	イ									
②対象指標	ア	人	56,638	57,000	57,000	58,237	58,785	59,333	59,881	60,429
	イ									
③成果指標	ア	%	9,887	9,810	100	100	100	100	100	100
	イ									
投資 入費 量	事業 費	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	29	48	102	99	87	87	87
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	1,024	1,003	1,250	1,187	1,140	1,140	1,140
	人件 費	(A)事業費計	千円	1,053	1,051	1,352	1,286	1,227	1,227	1,227
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	3	2	3	1	1	1	1
投資 入費 量	人件 費	延べ業務時間	時間	265	260	265	390	390	390	390
		(B)人件費計	千円	1,070	1,058	1,078	1,553	1,587	1,587	1,587
	トータルコスト(A)+(B)		千円	2,123	2,109	2,430	2,839	2,814	2,814	2,814

事務事業名	合生文化会館維持管理事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	人権啓発教育課
-------	--------------	-----	----------	-----	---------

2 評価の部（SEE）

*原則は25年度の事後評価、ただし複数年度事業は25年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①25年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	②26年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 トラブルが発生しても早急な対応を行う
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 施設に関する苦情等も即時対応しており、現状維持に努める。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業）⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 施設設置時の地域住民の問題解決に向けた思い、地域性もあり、交通の利便性からも困難である。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 これまでも経費削減に努めており、余地はないものと判断する
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 人権問題啓発を推進するための地域の中の施設として、委託等による運営は困難である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 人権問題解決のための拠点施設の維持管理であり、適正な役割分担である

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

利用者の意見の可能な範囲で即時対応しており、良好な施設維持管理ができている。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																								
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善（有効性改善） ☐ 事業のやり方改善（効率性改善） ☐ 事業のやり方改善（公平性改善） ☒ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）				<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持																											
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												